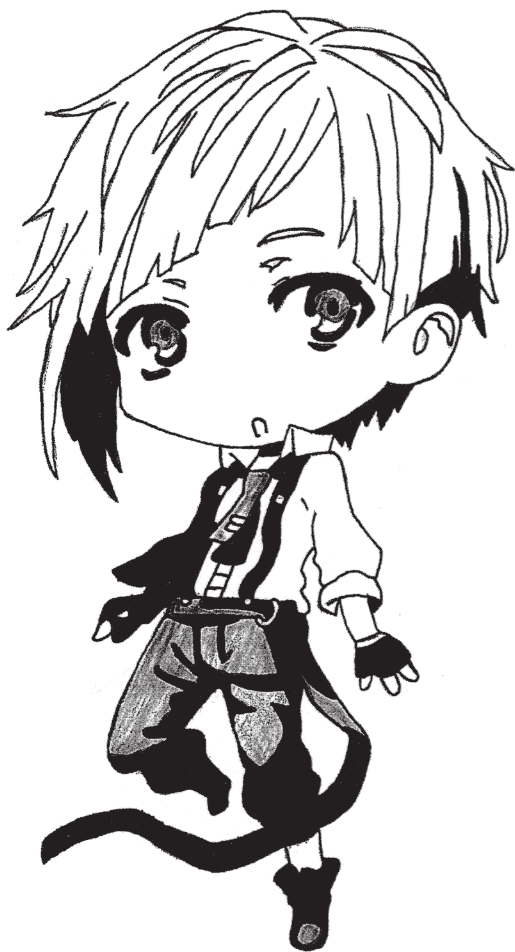


‘キャッチ’
CATCH

VOL. 80
2016. 3



西東京市図書館

ヤングアダルト

Y A による☆

共同編集部 推薦！ 私の好きな主人公の物語～角川編～

『魔法科高校の劣等生』シリーズ

佐島勤著 KADOKAWA

みなさんは、「自分は才能がないなー」とか「何をやってもダメだ」と思ったことはありますか？全く一回も無いと言う人は、ほばいないと思います。

この本の世界では、魔法を科学のように使うことができます。この本の主人公、^{しば たつや}司波達也は妹である^{しば みゆき}司波深雪と魔法を勉強しに、「国立魔法大学付属第一高校」通称、魔法科高校へと入学しました。深雪は、トップの成績で一科生で魔法科高校へ入学し、^{ようし たんれい}容姿淡麗で誰からでも羨ましがられるような少女でした。しかし、兄である達也は、魔法科高校に補欠である二科生として入学、魔法の才能はありませんでした。

魔法科高校に入学した、深雪と達也。深雪は、入学試験の結果から生徒会に誘われ、入る事を決意します。しかし、深雪が二科生である達也と仲良くするのをあまりよく思わない一科生の人達とある日、達也たちは軽い乱闘を起こしてしまいます。そんな時に、魔法の才能が全く無いと思われていた達也の意外な才能が知られる事になります。それは、魔法の才能がない達也にできる対人戦だったのです。彼は、才能を埋める分の知識と鍛え上げられた体、そしてちょっとの魔法で生徒会である 2 年の先輩をも倒してしまいます。

他にも、彼には様々な謎があります。この本を、読み進めていけばいくほど彼の謎が解けていき、彼にとっても惹かれると思います。この本では、達也以外にもとても面白い登場人物がいます。さらに、戦闘シーンもハラハラして面白いし、たまに恋愛要素も入っています。

一度読めば、たちまちこの本の世界観に引き込まれる、そんな作品です。ぜひ、読んでみてください。

『箱入り王女の災難』シリーズ

三川みり 著 KADOKAWA

自分の好きなものを頭に思い浮かべてみてください。それは他の人に話しても、引かれないものですか？今回私が紹介する本は、孤独で不気味なものが大好きな隠れ根暗姫の物語です。

主人公のフレデリカ・アップフェルバウムはエーデルクライン王国の王女様。小さい時に会った女の子から貰った「そら豆人形」の可愛さに心酔してしまい、衣装筆筭に大きいのと小さいのを合わせて 50 体も持っているくらいです。好きな生物は黒猫、好きな本は『神聖聖教と大陸の暗部』という怖すぎて発禁処分ギリギリの本。これが「エーデルクライン王国の宝石」と称されているフレデリカの裏の顔なのでした。そんな彼女が国王陛下からの命令でユリウス・グロスハイムと一緒にいった遠乗りで落馬してしまいます。死んでしまったはずが、なぜかグレーテルの体に移ってた！グレーテルの体にフレデリカの魂が入っていることに、最初に気がついたイザーク・シュルツに協力してもらい自分の体に戻ろうとしたのですが…果たして彼女は自分の体に戻れたのでしょうか！

「あの子は、自分が孤独だということに気がつかないほどに、孤独だった。だからいつも、にこにこ笑ってた。」この冒頭が私の一番好きなセリフです。三川みり先生の『シュガーアップル・フェアリーテイルシリーズ』もオススメです、17 巻もあるのでご注意ください。

『メグとセロン』シリーズ

時雨沢恵一 著 角川グループパブリッシング

常に冷静で格好良くて、おまけに頭も良い。モテる要素満載なのに、誰とも付き合うことのないセロン。そんな彼が好きになったのは、同じ学年のお下げの少女メグ。なんとかしてメグに話しかけようと思ったセロンであったが、見惚れるあまり、声をかける機会を逃したまま、学校は長い夏休みに突入。自分の心がいなさで落ち込みながら自宅に帰るが、セロンは親友に誘われて、演劇部の夏合宿の手伝いをするために再び学校へ。演劇部ではない彼女に会う機会はないと思いながら、手伝いをしているとそこには…。

タイトルであり、主役でもある「メグ」と「セロン」のほかにも、個性豊

かで素敵な登場人物であふれています。このシリーズは、人気作家・時雨沢恵一の『アリソン』『リリアとトレイズ』シリーズのスピノフ。先の二作品を読んだ方には、おなじみの人物が出てきたり、そこがつながるのかと何か発見があったり。もちろんほかの作品を全く知らない方でも、心配ご無用。ばっちり楽しめます。何しろ紹介者の私自身が前作を知らずに楽しんだのですから！

魅力的な主人公というより登場人物、全員が魅力的な『メグセロ』シリーズ。自分のお気に入りの人物を見つけて、楽しんでください。

『ぼくのゆうしゃ』シリーズ

葵せきな 著 KADOKAWA

本作の主人公は小学四年生のミカミ・トオル。兄が危篤^{きとく}との知らせを受け、病院へ向かう途中で車に撥^はねられてしまう。異世界で目を覚ましたトオルはオレンジ色の毛玉に「ご主人は勇者ですぞ！」と告げられる。勇者としての役目は「女神様を起こして《神無節^{かんなせつ}》を終わらせる」こと。ただそれだけなのに魔物から村を救ったり、人類を敵に回したり…。

そんなトオルの周りには個性的なメンバーが勢揃い！ダメダメ使い魔のルウ、しょぼい魔法しか使えない（自称）大魔道師のファルディオ、最強女騎士のセシリア、などなど。とにかくハチャメチャハッピー勇者ライフ！という感じです。

トオルの「自分を犠牲にしてでも誰かを助けたい」という純粋で強い思い、自分の経験から得た「『仕方ない』と『諦める』はセットの言葉じゃない」という考えが小学生とは思えないような行動力で大人達を引っばっていきます。

さまざまな人との出会いと別れ、仲間の危機、それが彼らの団結をますます強いものにします。そんな中でも自分らしさを突き通し、世界を守る（？）彼らの活躍を是非ご覧下さい！最後の十数ページに予想外の展開が待っているはずです！

『万能鑑定士 Q』シリーズ

松岡圭祐 著 KADOKAWA

モデルの様な体型で猫の様な大きな瞳、そして幅広い知識を持ち、論理的思考（ロジカルシンキング）を巧みに使い、様々な事件を解決する。こんな女性が本当に居たらとても魅力的だとは思わないか。この女性の名前は凛田莉子。

莉子は今では聡明な彼女だが、学生時代は先生も頭を抱える程の劣等生だった。実技教科以外は全て 1 の成績だったが、彼女はそのことを全く気にしなかった。沖縄の波照間島出身の彼女は少しでも島の暮らしを改善できたらという思いで上京する。しかし、一般常識や知識を身につけずに上京した為、就職活動は上手くいかず生活に困ってしまう。そんな時、彼女は瀬戸内陸と出会う。彼は莉子の豊かな感受性を生かした勉強法を彼女に教え、莉子は驚きのスピードで鑑定士になるための知識を身につけていく。

彼女は「万能鑑定士 Q」シリーズの主人公だ。とても読みやすい作品なので是非読んでみて欲しい。

『とんび』

重松清 著 角川書店

舞台は広島県備後市。運送会社に勤務する 28 歳のヤスは愛妻、美佐子との間に息子のアキラを授かります。一本気で不器用で、カッとすればすぐ手が出るという絵に描いたような「バカ」なヤスさん。正に昭和の父親像が平成に飛び出てきたようなそんな彼ですが、新たに「親バカ」という一面を持つようになるほど、家の中は幸せ一杯。美佐子とともにアキラの成長を見守り、幸せな日々を過ごしていました。

しかしある日、ヤスさんが連れて行った仕事場でアキラを庇った美佐子が事故死。ヤスさんはその日から男手一つで幼いアキラを不器用ながら育てていくことになります。とんびから生まれた鷹のように、成績優秀、人付き合いも良好、純粋でまっすぐな青年に育っていくアキラ。まるで対照的なヤスさんは息子の成長に戸惑いながら、乱暴でもただひたすらに愛を注ぎます。

個性的な近所の仲間に助けられながら、息子と共に自身も成長していくヤスさんの、温かい世界にどっぷり浸かっていたきたいです。

文庫本もありますが、頑固オヤジらしく重たい単行本をドカンと置いて一気に読むことをお勧めします。

YA! YA! ひろば



→ ひばりが丘図書館
から



→ 柳沢図書館から
の投稿です。

映画化するんですか!?
自分もぜひ見てみたいです。



No.6. あさのあつこ

アニメ化やマンガ化
されております。
主人公の紫苑が
No.6の政府に
捕らわれたジブ
を救う為 ネズミ
と戦うお話です。
全9巻で
ガイドブックも
あります!
あつこ



は〜いど〜も 琉輝です!!

今回は「黒子のバスケ」が映画化
するので、大好きな

帝光時代

帝司様

をかかせて
いただき
ました!!

本当に
カッコイイ!

それでわ
また!!



自分もあさのあつこ
好きです。
シリーズになってるのも
またいいですね!!

こんにちは！ Catchの表紙を千夜ちゃんで飾らせて
 もらった夢里です。今回はアニメ第二期放送を記念して
 を描きました。
 ココアのお姉ちゃんが二期に出てくる
 のでぜひ見てください！

Chino



『ご注文はうさぎですか？』の
 キャラだね？

あまり詳しくはないけど、
 かわいい～（*^^）



とても上手な絵の
 投稿 ありがとう

色つきでのせられなかったのが
 残念（>＜）。



..Naiko..

『ぼくは科学の力で世界を変えることに決めた』

ジャック・アンドレイカ著 マシュー・リシアック著

中里京子訳 講談社

“文系”の皆さん、こんにちは。(勝手に、このページを見てくれている方は文系と推測しておりますが)私も、かなりの文系族です。

でも、なぜか文系の人って、理系にあこがれたりしませんか?「自分に持ち合わせていない感覚をお持ちの理系の方々・素敵!」みたいな(笑)

今回紹介する本は、ド文系の私が、「サイエンスって面白い!」と思えた本なのです。主人公は、皆さんと同じ10代の少年です。15歳の“科学オタク”ジャックは、学校ではいじめにあったり、つらい毎日を送っています。でも、数学が大好きで、いろいろな疑問を科学の力で解決していくべく、実験に取り組みます。そして、幼いときからジャックに大事なことを教えてくれたテッドおじさんの死。ジャックは、一度は死をも考えますが、テッドおじさんをうばった「ガン」を、早期に発見する検査方法を発明することに、情熱を燃やし始めるのです。ジャックはそんな大きな発明ができるのでしょうか?

巻末に「実験ファイル」もついています。理系さんもちろん、楽しめますよ!

編集後記

受験が終わり、しかも活動ができると思っていたcatchの編集も土曜後業でつづかれるとは思わなかった。リンゴ

ここに名を連ねるようになって、早2年。早すぎですね!去年よりもかなり人数でワイワイやりました。皆さんもこの年で友人は増えましたでしょうか?新しい良い出会いを祈ります。それでは、また!! リンゴ

文章かってなんだったんだろ...白紙の原稿にうめ...しつ、締め切り当日に図書館で書き上げました!本のあもしろさか皆さんにも伝わると思います...やな

この1年で編集の楽しさを覚えました。とても楽しかったです!自分の作文がのっているのも新鮮でした。1年間ありがとうございました!いぬ

共同編集に参加して1年経ちました!

みなさまに楽しく読んでもらえたらうれしいです。来年もぜひ読んでください!桜媛

1年って本当にあっという間だな。(*)^(*^*)

こうやって出会ってみなさんと一緒に編集できて楽しかったよ。1年間ありがとうございました。(く)ノッ(きょ)年明けにまたまた10 orz).Mini